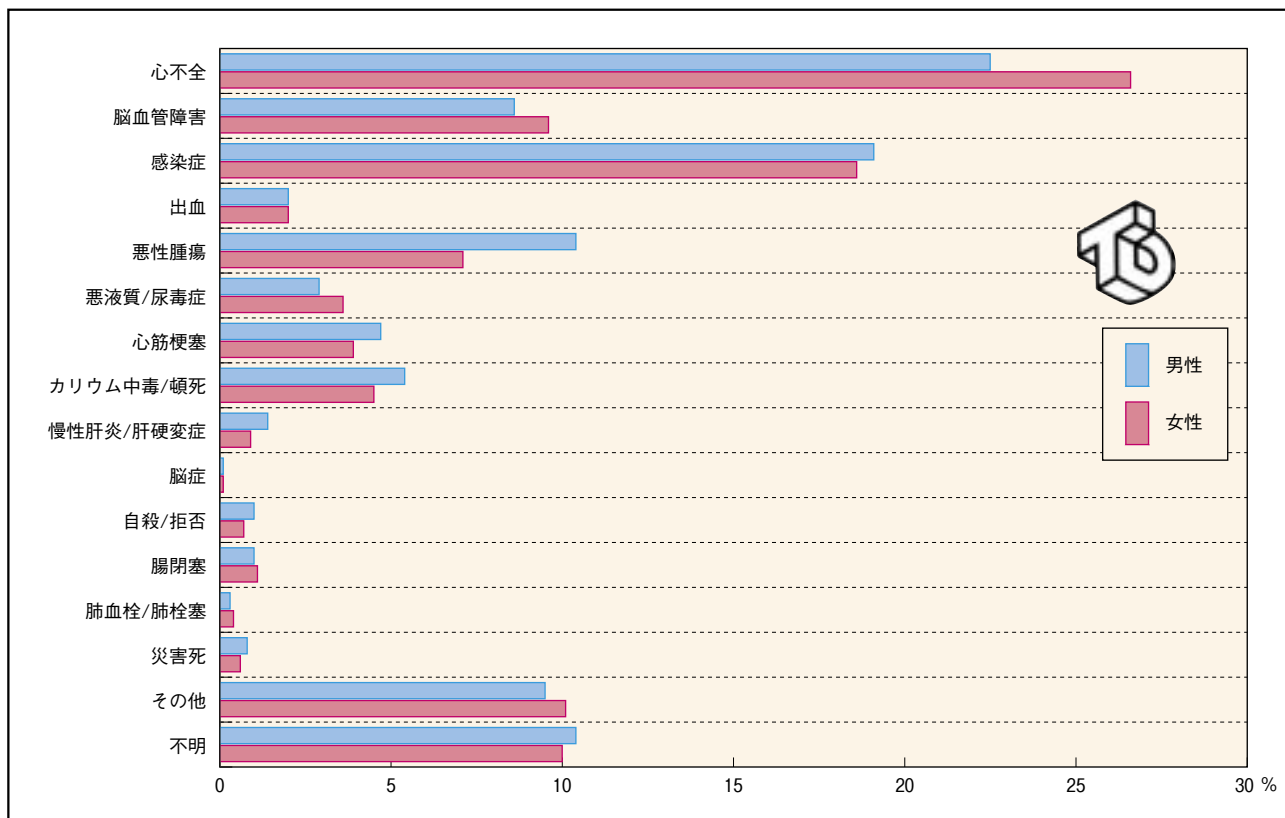


5) 死亡原因

(3) 2007年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	3,371	2,328	5,699	1	5,700	脳症	12	10	22		22
(%)	(22.5)	(26.6)	(24.0)	(14.3)	(24.0)	(%)	(0.1)	(0.1)	(0.1)		(0.1)
脳血管障害	1,287	841	2,128		2,128	自殺/拒否	153	58	211		211
(%)	(8.6)	(9.6)	(9.0)		(9.0)	(%)	(1.0)	(0.7)	(0.9)		(0.9)
感染症	2,856	1,627	4,483	2	4,485	腸閉塞	144	100	244		244
(%)	(19.1)	(18.6)	(18.9)	(28.6)	(18.9)	(%)	(1.0)	(1.1)	(1.0)		(1.0)
出血	305	178	483		483	肺血栓/肺栓塞	43	38	81		81
(%)	(2.0)	(2.0)	(2.0)		(2.0)	(%)	(0.3)	(0.4)	(0.3)		(0.3)
悪性腫瘍	1,555	620	2,175	1	2,176	災害死	119	56	175		175
(%)	(10.4)	(7.1)	(9.2)	(14.3)	(9.2)	(%)	(0.8)	(0.6)	(0.7)		(0.7)
悪液質/尿毒症	428	316	744		744	その他	1,424	885	2,309		2,309
(%)	(2.9)	(3.6)	(3.1)		(3.1)	(%)	(9.5)	(10.1)	(9.7)		(9.7)
心筋梗塞	703	342	1,045		1,045	不明	1,558	874	2,432	3	2,435
(%)	(4.7)	(3.9)	(4.4)		(4.4)	(%)	(10.4)	(10.0)	(10.3)	(42.9)	(10.3)
カリウム中毒/頓死	807	392	1,199		1,199	合計	14,973	8,746	23,719	7	23,726
(%)	(5.4)	(4.5)	(5.1)		(5.1)	(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
慢性肝炎/肝硬変症	208	81	289		289	記載なし	26	16	42		42
(%)	(1.4)	(0.9)	(1.2)		(1.2)	総計	14,999	8,762	23,761	7	23,768

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

患者調査による集計

解説

2007年死亡患者の死亡原因分類

年間の死亡者数は透析患者の増加とともに経年的に増加している。2007年では25,237人が死亡し、2006年と比較して1,203人(5%)の増加であった。シートⅡ以降の死亡原因が記載されてあった23,719人で検討すると、2007年の死亡原因は心不全(24.0%)、感染症(18.9%)、不明(10.3%)、その他(9.7%)、悪性腫瘍(9.2%)、脳血管障害(9.0%)の順となった。性別による比較では、男性で感染症と悪性腫瘍が若干多いこと、女性で心不全と脳血管障害が若干多いことが明らかとなった。この傾向は2006年の検討と同様である。心不全、脳血管障害、心筋梗塞をまとめて検討すると女性では40.1%、男性では35.8%であり、女性の方に心血管障害が多い可能性を示唆する所見である。